

〈隷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生書

夜窓茶煙影分書幌
午榻茶煙影分書幌

〈行書〉

吉田成美先生書

夜窓茶煙影分書幌
午榻茶煙影分書幌

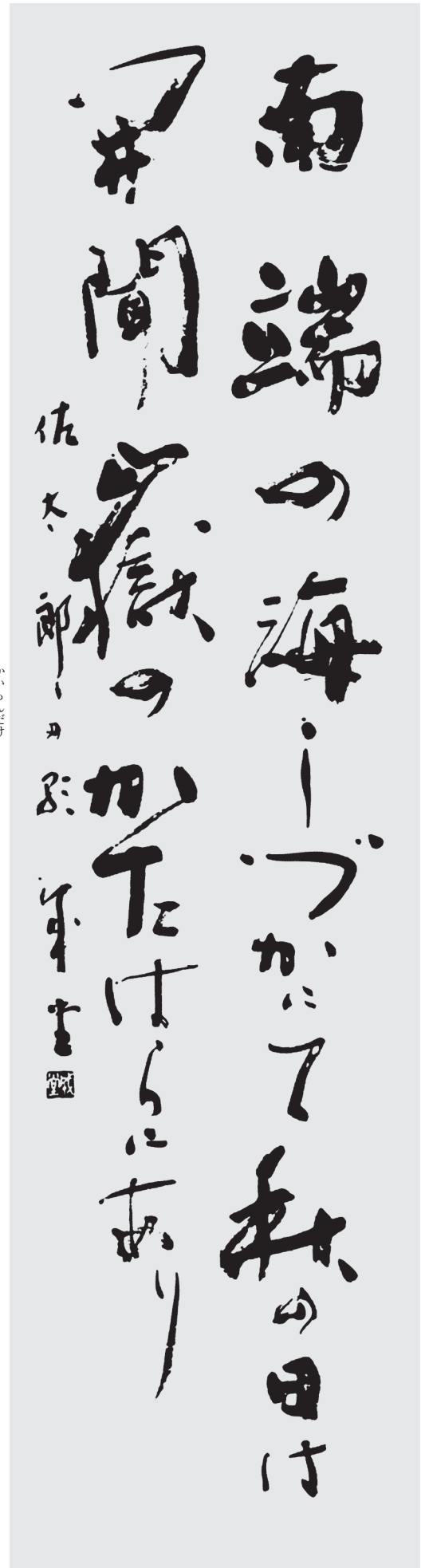
□ 夜窓の燈影幌を分ち、午榻の茶煙鬢絲颯る。（郊詔）

夜の書斎の燈影は帳までも光を分ち、書斎の腰掛には茶を煎る烟が遶って白髪を憐むようである。

次号予告「澄懷屏塵慮」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□ 佐藤佐太郎の歌

南端の 海しづかにて

秋の日は

開聞嶽の かいもんだけ

かたはらにあり

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ 縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



清原大龍先生書

□ 小鳥来て

午後の紅茶の ほしきころ

富安風生の句

和やかな俳句です。でも、「小鳥」は春の季語とばかり思っていました。が、「秋」。みなさんは知っていましたか。秋、日本に飛来する小鳥のことを言うそうです。勉強になります。

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{2}$ に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ ）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 野菊秋心淡たり (千宗英)

野に生ずる菊の花は秋の心を写しだして淡泊である。

野菊秋心淡

千宗英

書

書



次号予告「茶香帶雪浮」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 野菊秋心淡たり (千宗英)

野に生ずる菊の花は秋の心を写しだして淡泊である。



次号予告「茶香帶雪浮」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



□ 釣月耕雲 月に釣し雲に耕す (瞿法賜)
月の夜に魚を釣り 雲を帯びて田をすく。

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）

▽興福寺断碑

飛傑
将臣

桂子
臨



「傑臣飛將」

△臨書▽

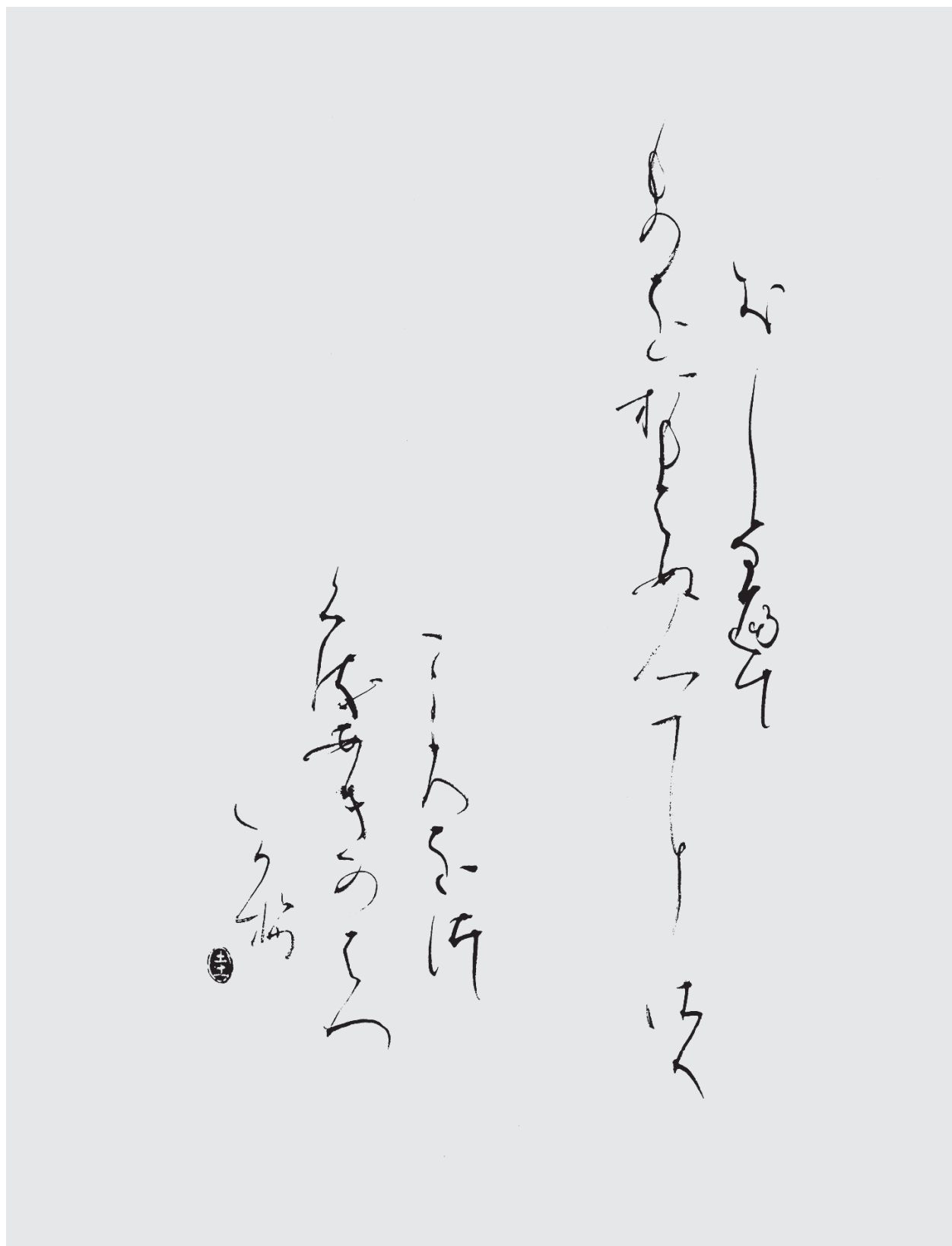
集字である事を意識せず、筆の弾力を生かし、力強く、リズムミカルに書きましょう。

大坪桂子先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

おしなへて 物をおもはぬ 人にさへ 心をつくる 秋のはつかせ

△仮 名▽ おしなへて 物をおも^はぬ 人^に耳^に佐^へ こゝろを徒^つく流^る あきの者^はつ可^か勢^せ



舟 尾 圭 碩 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△手紙文▽

商店街や駅前にあった町の本屋が姿を消してしまいました 待ち合わせには格好の場所で 新刊の装丁や帯に書かれた推薦文を眺めていると 友の遅刻も気になりませんでした 進一

商店街や駅前にあった町の本屋が姿
を消してしまいた待ち合わせには
格好の場所で新刊の装丁や帯に
書かれた推薦文を眺めていると友の
遅刻も気になりませんでした 進一

大坪桂子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書譜

前略、この度は私の入院で皆様にご心配をおかけ
し、誠に申し訳ありませんでした。またお心遣い
まで頂戴し、恐縮いたしております。

幸いにして大事に至らず、完全に以前の生活に
戻りましたので安心して下さい。それと入院中は中々
自由にたえず、ご報告並びにお礼が遅くなりました。
こと、どうかご容赦ください。

末筆ながら、皆様におかれましては、くれぐれも
ご自愛くださいませ。
早く

野のある便箋に書いてみよう。△ 26 cm × 18 cm ▽ 紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	実世界の喜びと悲しみが入り混じる。	清廉な心があり、甘い夢物語ではなく現	づく。弱者への慈愛と信仰にもとづく	ながらも深い感銘を受けるとともに気	アンデルセンの作品を読むと、大人に
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書



一般の方も是非チャレンジしてください。

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

知り合い

小学4年

水の玉

小学3年

おみこし

小学2年

わら

ようねん・小学1年

荒城の月

中学2・3年

挑戦者

中学1年

創造力

小学6年

山に登る

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼Ⅱ四尺画仙紙半折¼：68cm×17・5cm▽

ようねん・小学一年

次号予告「は ぜ」

わら

□「トメ」「ハライ」「ハネ」のふでづかいのちがいに気をつけて元氣よく書きましょう。

小学二年

次号予告「いのり」

おみ

□「お」「み」のむすびは、筆の軸だけをまわさないように気をつけましょう。

坂 元 紫 香 先 生 書

小学三年

次号予告「天子」

水玉

□始筆のはいり方と線の方向に注意し、中心とバランスに気をつけ、明るく伸びやかに書こう。

小学四年

次号予告「思いやり」

知る

□「知」は部分の組み立て方に注意し、「る」は横結びの筆使いをたしかめて書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

次号予告「進 歩」

登山

□ はつがしらの書き順に注意し、払いを伸び伸びと。「山」は左右の空気に気をつけて。

小学 六年

次号予告「国民の声」

創造

□ 「創」はへんとくくりの大きさに気をつけ、「造」のしんようを伸びやかに。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「新しい元号」

挑戦

□ 点画の連続と筆脈・筆圧の変化に気をつけ、リズムに乗った動きのある作品にしよう。

中学二・三年

次号予告「敬 愛」(行書)

の荒城
月城

□ 各文字の字形に注意しながら、トメ・ハネ・線の強弱を意識し、流れのある作品にしよう。

吉 田 成 美 先 生 書

坂元紫香先生書

፲፱፻፳፯ ዓ.ም. ሚያዝያ ፳፯ ቀን

私 私 私 私 私
機 機 機 機 機
↑ ↑ ↑ ↑ ↑
増 増 増 増 増
(ふ)
主 持 提 提 提
(てい)

「●を括弧に入れよう」

●はねる ●右にはらう

	段 級	氏 名	
「これから」の社会をへて、			
くわだした「から」が「へ」			
して「から」が「へ」の方と関係する機			
会を増やす「へ」は「へ」に			
「具体的な」案を提案する。			

小学五年

ノ イ 付 木 枳 横
 ①はねる ②はねる ③はねる
 下 飛 飛

	段 級		氏 名	
いなか「さ」の「き」	付「た」を「た」	「い」が「の」横「飛」	に「飛」出「て」	た。

小学四年

小学六年

親子のかには三びき、自分らの穴		
に帰って、きます。波は、よこ		
と青白、ほのなをゆらゆらと上		
けました。それはまた、金、一ツ石		
の粉をはいて、いるようにした。		
段 級	氏 名	

「問をあける」
「はねる」
いり 沙 波
ハ ュ 半 半 粉 粉

中 学

後日、文献を調べたと、二ツ、樹上の		
動物が落とした食物を地上の動物		
物が採食するといふ行動は、ニッ		
の各画に、なぞらえて「落ち穂拾い」		
とよばれて、いるといふことがあった。		
段 級	氏 名	

「はねる」
「はろう」
ト 手 採 採
禾 禾 禾 禾 穂 穂
(は)

小 畠 秋 聲 先 生 書